

『帝国の復興と啓蒙の未来』 正誤表

本書に下記の通り、誤りがございました。
お詫びして訂正いたします。

該当ページ	誤	→	正
p.4 13行目	イスラームの地(ダール・イスラーム)	→	ダール・イスラーム(イスラームの家)
p.36 6行目	イスラームの家【ルビ=ダール・イスラーム】	→	ダール・イスラーム(イスラームの家)
p.81 14行目	新訳学者	→	新約学者
p.102 8行目	アッラーに使徒ムハンマドより、	→	アッラーの使徒ムハンマドより、
p.150 18行目	執権北条時宗の命により滝の口で	→	執権北条時宗の命により竜の口で
p.180 12行目	「イフワーン(同法)」	→	「イフワーン(同胞)」
p.187 11行目	17世紀のネオ・スーフィズム	→	18世紀のネオ・スーフィズム
p.220 16行目	「ダール・アル=イスラーム(イスラームの家)」	→	「ダール・イスラーム(イスラームの家)」
p.250 3行目	イスラーム復興運動は、	→	イスラーム復興運動の標的は、
p.263 7行目	受持軍	→	十字軍
p.274 15行目	カルダーウィー	→	カラダーウィー
p.293 著者プロフィール 8行目、カバー そでプロフィール 7行目	日本ムスリム教会理事などを歴任。	→	日本ムスリム協会理事などを歴任。